

福祉科 1 年生が「スマート介護士」

を取得しました！

様々な取組

福祉・介護現場におけるICTの 進展に対応できる人材育成を 目指した福祉系高校の授業実践

川崎市立川崎高等学校福祉科は、専門学科として介護福祉士を養成しています。福祉・介護現場におけるICTの進展に対応できる**介護人材**の育成を目指し、本校では、「福祉情報」等の科目において福祉用具・介護ロボット等に関する授業を実践する際に、スマート介護士 Starterを活用しています。

スマート介護士 Starterは、実践的・体験的な学習活動として効果的な教材であり、学習評価ツールとして授業内に実施できることや、生徒の習熟度に応じて何度でも無料で受験できることが導入の決め手となりました。

生徒は、試行錯誤しながら端末を操作し、ソフトウェアの活用、インターネット検索による情報収集、生成AIの活用等により、合格を目指します。このような取り組みは、福祉サービスの質的向上における情報技術活用の必要性や、情報機器の効果的な活用方法の理解を深めるだけでなく、これからの情報社会に必要な「情報技術を活用する能力」の習得にも繋がっています。

卒業後の進路は、介護現場への就職、福祉・看護・リハビリ・教育分野等への進学など、多様化しています。スマート介護士Starterで学んだことを活かし、各分野で活躍してくれることを期待しています。

藤井 佳子

川崎市立川崎高等学校福祉科 講師
スマート介護士Expert
社会福祉士 精神保健福祉士 介護福祉士
保育士

